

ジェンダー学習を振り返って 平成15年1月9日(木) 実施

生徒の作文を紹介します(ほぼ原文通り)

Aさん

ジェンダーとは性差の事である。

この頃は少なくなってきましたが、女性への差別はいまだ残っています。今は「女子差別撤廃条約」などの女性を差別したりすることを禁止しています。もちろん男だからといって差別するのもダメです。例えば求人募集の時に「女性のみ」としたり。

職業の名でもジェンダーフリーを図っています。この頃は看護婦と看護師は「看護師」と呼ぶようになったのが有名ですね。他もカメラマンは「撮影スタッフ」、スチュワーデスは「客室乗務員」という、あまり聞かない名になりましたが、これからはこれが普通の呼び名になればいいと思います。

そして、私達は女性第1号についても学びました。日本女性で初の職業は？です。宇宙飛行士の方など今まで知らなかったことばかりでした。それに、思ったより女性も社会に進出していて、なんだか良かったような…。夏には自分でも調べました。いろいろ考えた末、大臣になった人を調べると、その人はとても大変な人生を送っていることを知りました。特に女性が大臣になるというのは当初は異例だったと思うので、山中マサさんは本当にスゴイ人だと思いました。

女性初というのは大変なことが沢山あるけど、そんな人達のおかげで今があると思うと、良いことですね。

Bさん

これまでのジェンダー学習を振り返って感じたこと、考えたことは、私が思っていたより差別は深刻だったということです。そして、差別と言っても色々な種類がある中で、私たちは男女差別についてビデオをみたり、インタビューなどをして考えてきました。テレビのコマーシャルでは、女性が家の仕事をするのが当たり前のように描かれていました。今まで何も気にならなかったコマーシャルもジェンダーを頭に置いて見てみると、違ったものに見えてきました。

また、インタビューでは、男性と女性の仕事の内容が違っていたり、給料が違っているのだろうかということを調べました。たしかに、男女の差は昔に比べて今は減っていましたが、まだ完ぺきには消えていないんだと思いました。中でも銀行ではセクハラが実際にあったという話を聞いて本当にショックを受けました。

なぜ女性だからということだけで何かをやらされたり、何かを我慢しなければならないのでしょうか。それはたくさんの女性の可能性をつぶしていることに、差別をしてきた人は気づいているのでしょうか。差別や外見にとらわれず、その人の中身や能力で判断するべきではないのでしょうか。私はジェンダーを学習して本当に感じました。これからは差別のないジェンダーフリーが誰にとっても当たり前になる、そんな日が来ることを期待します。そして、ジェンダー学習で学んだことを私は忘れません。

Cさん

私は、ジェンダーの学習をして、今まで考えもしなかったことを、違う方向から見ることができました。私が初めてジェンダーという言葉聞いたのは、この高校に入り、総合の授業を受けたからであって、もし総合の授業がなかったら、ぜんぜんジェンダーのことも知らず、その言葉も聞くこともなかったと思います。

私には無縁だった「差別」という言葉を、この授業を受け、すごく身近に感じました。日々の中で知らず知らずに見ていたことが差別だと知り、とても驚かされました。よく考えれば、「なぜ女の人が料理をしなければならないのか」「なぜ女の方は出世がしにくいのか」「なぜ男の人が産休をとってはいけないのか」----- 私が常識だと思っていたことは、じつは差別だと知りました。ジェンダーの授業は、私にとってとてもプラスになりました。驚いたこともたくさんあったけど、気づかされることももっとたくさんあったように思います。

人には誰かに言ってもらわなければ気づかないことがたくさんあり、気づいているのに気づかないふりをしている人達もたくさんいます。私は、差別されたくもないし、差別したくもありません。でも、気づかないうちに、差別で人を傷つけているなら、それに早く気づき、すぐにやめたい。世界の人々も、私と同じ気持ちでいてくれたらいいなあと思います。差別なんてなくなればいいのに、辞書からなくなるような世界にしたい。「差別なんて言葉が必要ない」という世の中になればいいなと思いました。

Dさん

これまでのジェンダー学習を振り返って、男女の差別のことなど、とても勉強になりました。男の方が社会的に上で、女は男と同じように仕事ができないとか、男の方が仕事ができるとか、男女差別がとてもたくさんあったことを知りました。しかし今では、女性がパイロットになったり、昔とは違い、男性しかやっていなかった仕事に女性が就くようになりました。

男女差別はまだまだ残っていますが、これからは男女差別がなくなるように私達が努力しなければならないと思いました。そして、全ての差別がない世の中になればいいなと思いました。

昔、ユダヤ人がユダヤ人だという理由だけで差別され、たくさんのユダヤ人が虐殺されました。ユダヤ人というだけの理由で差別されるのはとてもおかしいと思いました。そういった差別は決して繰り返してはいけないと思いました。

そのためにも、私達はこれから絶対に差別をしてはいけないし、子孫にもそれを伝えて、これからの未来のためにも、差別についてもっと理解し、差別の対象だった人達の応援もしていきたいと思います。そして、私は女性として女性差別をなくすために、もっと女性が活躍できるように、私も頑張りたいと思います。

Eさん

「男だから…」、「女だから…」、そう言って今までの私はあまり意識しないで「男」と「女」で差別していた。もちろん、私だけではない。社会全体にもそういう差別的な流れは昔からあった。『男は外へ、女は内へ』的な考えは今も根づいている。そして、昔も今も男性に都合のいい考え方で女性が悔しい思いをしたこともあっただろう。

今回の授業では、数多くの女性に対しての差別について考えを深めていったわけだが、私は怒りを感じた時もやはりあった。話を聞けば聞くほど知る女性への差別。同じ女性として悔しい時もあった。友達とジェンダーフリーについて話している時は、「男って勝手だよね」と終始言っていたし、それほどまでに私は理不尽に思った。

しかし、同時に知ったこともある。それは、『女性の強さ』だ。どの女性も、この流れを変えようとしているのだ。授業中目をとめた記事にこういう言葉があった。

「私はこれから進出してくる女性のために道を開きたいのです。」

この言葉に私は感動したのを覚えている。そして、『私もその後に続かなくてはいけないのだ。』としみじみ感じさせられた。

今までの差別の流れはきっと歴史として残ってしまうだろう。しかし、これからの未来はまだ私たちの手で変えられるのだ。先に道を切り開いてくれた女性のためにも、今まで「女だから…」と違って差別されてきた女性のためにも。私たちはやっと変わりかけてきたこの流れを、さらに変えていかなければならない。『ジェンダーフリー』は全ての女性の願いなのだから。

Fさん

私が今回の学習で学んできたものの中で、一番印象に残っているものは『働く女性』の学習です。自分達で自主的に調べたという理由もありますが、私達にもいつかはかかわってくる問題だからというのが一番主な理由だと思います。

もちろん調べ初めてからは大変だったことが沢山ありました。中でも一番大変だったのは、インタビューでした。どんな差別があるのかを知るには、差別をうけたことのある人を見つけなければなりません。苦労して見つけた人はインターネットの中の女性。自分が聞きたいことを聞けなかったのは残念でしたが、自分が想像していたことより沢山のことがわかった気もしました。

「大きな仕事、重要な仕事はさせてもらえない。」「雑用ばかり。」など、自分の力を発揮させてもらえない状況は、私の中で特に驚き、傷ついたことでした。その他にも、女性には寿退社、育児休暇があるのに対し、男性にはないというのは、働きたい女性にとってはとてもかわいそうだと思います。これからの社会は男性のする仕事、女性のする仕事という固定観念を持たない、平等な社会になってほしいと私は思います。

Gさん

これまでのジェンダー学習を振り返って、自分が大人になった時に役立つようなことをたくさん知ることができたと思います。

その中でとても興味を持ったのは、育児休業が男の人でもできるようになり、年々、そういった光景が多く見られてきているということです。昔は、男の人が働いて、女の方は家事や育児と世間的に決まっていたのに、現代は働く女性が増えてきていて、日本も変わったんだと思いました。あと、そういうことは、だんだんと男女差別がなくなっていることなので、良かったと思います。

もう一つ興味をもったことは、仕事によって、男女差別や職場の男女の割合などが全然違うということです。

ほとんどの職員が男性であったり女性であったり、ちょうどいい感じに半分にわかれていたりで、みんなそれぞれ違って、調べていてとても楽しかったです。でも、中にはまだ男女差別されている仕事もあったので、私達が大人になって働き出す頃までには、少しでも男女差別がなくなってくれてほしいと思いました。

ジェンダー学習をして、現代の社会状況や、これから私達が社会人になるためにどのようなことをしていけばいいかなど、もっと真剣に考えていかないといけないんだと思いました。私達が大人になっても、男女差別はまだあると思うけど、それに負けないで自分が何をすればいいかを考えながら働きたいです。

Hさん

私は、この総合学習の時間でいろいろな差別について考えてきました。差別について、今までに知らなかったことが、あまりにもありすぎることに気づき、驚きました。この時間で学習したおかげで、差別に対する法律についても知ることができました。しかし、世の中で活躍している女性の方に、仕事について聞いたら、お給料の差や、昇進の進み具合、女だから接客業などと、あまりの差別の多さに驚きました。昔に比べると、今は減ったと思いますが、差別があることには変わりないです。

現代の世の中では、今までは男の人が行っていた仕事に、女の人が挑戦している姿をよく見かけます。今は、女の人だって頑張っているのだから、認めてくれてもいいのではないかと思います。男の人に負けてしまう部分はありますが、女の人には女の人しか持っていない力があると思います。「女性は家での仕事をしていればいい」というイメージがなくなれば、女性に対する差別は減るのではないかと思います。

今はまだ、たくさんの差別が世の中にあり悩んでいる人がいます。差別は良くないと解っていても、どうしてもイメージが焼きついていて差別してしまうのがいまの差別の現状かもしれないと思いました。イメージだけで人を決めてしまったら、お互いにとてももったいないと思います。たとえ女性であったも外見だけで決めてしまうのではなく、中身までを見つめて、その人の力を知り、認めてあげると差別が減るのではないかと思います。

Iさん

仕事に関しての男女差別というのは前から不思議に思っていました。女性のみの仕事もあれば男性のみの仕事もあって、そのときの私はただ興味がなくて、女性が男性の仕事をやらないのだと思っていましたが、それは違うようでした。

ジェンダーフリーの学習をしていて、女性でも男性の仕事をしたかったりしている人は、予想以上に多いものでした。最近では、男女関係なく仕事をしようとしている人が増えてきているので、差別も少なくなっているのではないかと思います。でもまだまだ男だから、女だからというものが消えているわけではないので、これからどんどんそういった差別がなくなっていくように、私たちも努力しなければならないと思います。

いろいろな仕事の中で、一番始めに異性の仕事に飛び込んでいった人たちはすごいなと思いました。女だから出来ないのではないか、という声にも負けずがんばりとおして、努力していて、私も少しは見習わなければいけないなと思いました。

仕事でなくても差別というものは沢山あったと思います。学習した中で、「青い目茶色い目」という授業を受けましたが、青い目だから、茶色い目だから駄目とか、すごく変だなと思いました。

どんな差別でも消していかななくてはいけないと再確認しました。

Jさん

高校に入って、初めてジェンダー・フリーという言葉を知りました。一番最初の授業（テレビコマーシャルの授業）は、まだ全然よく分かっていなかったと思います。今ははじめよりも、少しだけ理解したと思います。

ジェンダー学習の活動を今までたくさんやってきて、一番心に残っているのが「女性第1号調べ」です。新幹線の車掌さんやバスの運転手など、昔男の人だけでやってきた仕事も、今では結構女の人がやっているのがすごいなと思いました。

次に男の育休の活動。女の人だけでなく男の人でも子供の面倒を見ることができるようになってきたけど、私は男の人が育児休業をとっているのを見たことがないです。でも休みを取る人が多くなって、男女協力して生活できたらいいと思います。

反省は、あの人にインタビューの準備があんまりできなかったことです。ほとんど班の人がやりました…。

感想は、「総合的な学習の時間」で班の人と仲良くなれて良かったです。あと、色々協力できました。すごく良かったと思います。ジェンダー・フリー、男女差別のことを学習して、いろんなことが分かりました。これから調べ学習とかあったら、まとめ方や調べ方、発表の仕方も工夫してやりたいです。